

9月13日
市議選

市民のいのち・くらしを守る市政を
誠実でぶれない

かんの

日本共産党

略歴

●1959年いわき市常磐生まれ、内郷在住。
湯本第三小・湯本第二中・湯本高校卒。
福島県産業開発青年隊(土木専門学校)卒。
●日本共産党いわき・双葉地区副委員長、
いわき市原水協理事、いわき県政つくる
会事務局長。1男2女の父親。

活動地域

内郷、常磐、勿来、好間、遠野、田人、泉、葉山、
渡辺町、小名浜(旧市街地、大原、相子島、南富岡)

私も一緒に市政で
がんばります



元市議会議員

高橋あき子

宗長

むね

なが

いわき市民新報

2020年7・8月号外
日本共産党いわき・双葉地区委員会
いわき市内郷小島町花輪16-1
電話0246-27-5911
日本共産党はいわき市議選の
予定候補者と見解を発表しました。



新型コロナ・水害・原発から、いのちを守る政治へ

県政・市政にも力あわせます

救援活動を下支え

東日本大震災、福島原発事故当時、共産党の地区委員長として、私たちの救援活動を下支えしてくれたのが**かんのさん**でした。人にやさしく、原発ゼロでぶれない強い信念をもつ**かんのさん**。必ず市政で活躍できると確信します。(宮川えみ子)

人々の苦しみに心をよせて

新型コロナ、水害、原発など、いのちを守る政治こそ、求められています。
住民の苦難軽減こそ、日本共産党の立
党の精神です。私はその立場で、人々の
苦しみに心をよせて、その解決へ全力を
げます。力をおかしてください。

苦楽をともにした親友

かんのさんと私は長年、共産党の地区
委員会で一緒に仕事をしてきました。
私が県議になるときに、支えてくれた
親友です。困難があっても、誠実で一途に
がんばる**かんのさん**を、必ず市政に押し
上げてください。(吉田英策)



県議会議員

吉田えいさく

かんの
宗長(新)

県議会議員

宮川えみ子

国・県・市へ 求めます

- PCR検査の拡大、経営難の病院へ国が支援を
- 家賃補助などコロナ収束まで支援の継続を
- 密にならない手厚い教育へ、教員を増やし少人数学級を
- 学校給食費は無料に、子どもたちの貧困をなくす
- 河川しゅんせつ、堤防かさ上げ、排水ポンプ増設を
- 原発汚染水の海洋放出に反対、原発ゼロの日本を

今限りで市議を引退します。これまでのご支援に感謝いたします。かんのさんにバトンタッチします。今後ともよろしくお願いします。



市議 坂本康二

市議 溝口民子

市議 渡辺博之